

平成25年 第11回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成25年10月22日(火曜日) 午後1時30分開会/午後2時45分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 上田政憲、石橋雅之、酒谷百合子、畑中直子、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、矢嶋図書館長、柏田市政図書室長、米屋教育庶務課長補佐

上田委員長 平成25年第11回教育委員会定例会開会宣言
挨拶
審議事項はございませんね。報告第38号について、梶谷課長お願いします。

■ 報告第38号 教育委員会懸案事項について
梶谷課長 掛山局長 旭教育長 資料に基づき説明

上田委員長 昨日、新市長との協議の内容について報告がございました。ただ今の掛山局長と旭教育長のご説明について、もう少しお聞きになりたいことはございませんか。時間が短かったみたいですので、今掛山局長さんが説明された⑥までですね。

掛山局長 ②③⑤⑥です。

上田委員長 ここから後のことは、別に機会があるということですね。

掛山局長 そうです。

上田委員長 この②③⑤⑥について、特に質問その他ありませんか。よろしいですか。

石橋委員 すみません、⑤の加賀温泉郷マラソンに関しては、赤字が2,300万円出ましたよということは当然想定していた金額より2,300万円余計にかかったということですね。

掛山局長 そうです。

石橋委員 では、過去のマラソンではどうだったんですか。

谷口課長 コースを変えたのはこの前の4月ですが、近々でいくと平成23年の第36回の時に827万9千円ですね。平成24年になりまして1,329万4千円、前回コースを変えた時に6,520万5千円。

旭教育長 事業費を聞いているわけじゃない。収支決算はどうなったんですか。

掛山局長 平成23年の補助金は300万円、市の持ち出しは300万円で括っています。24年も300万円の補助金で事業をやっていたんです。今年、当初では1,700万円。要するに5倍以上の予算を計上したんです。これでできるだろうと、もう少しほしいという話だったんですが、そんなにいらないだろうということで少し切って1,700万円。だけど蓋を開けたら、結果的に1,700万円プラス2,300万円ですから4,000万円の一般財源、補助金が必要だった。だから大きな赤字の事

- 業になったということです。
- 石橋委員 去年、積算根拠とかあって、それに基づいて予算組みをしたにも関わらず、想定以上の赤字が出てしまった主な原因は当然掴んでおられますよね。
- 谷口課長 色々ありますが、参加人数が想定よりかなり少なかった。それで 600 万円以上収入不足でした。あと、コースを変えるということが、例えば簡単に比較すると前のコースには実はガードマンがいないという指導でやっていました。新コースになっても私どもはガードマンがいないのだと思っていましたが、やっぱり街中や集落を通るところは、非常に警察の指導が厳しかった。それと付随していろんな看板ですね。規制看板であったり、その他諸々の指導が非常に厳しかった。それが主な原因です。それからシャトルバスも全てランナーを守るためのことでした。だからある意味最大限でやらないと次がなかった。それは言い訳かもしれませんが、調査不足であり見込み不足であったということしか言いようがありません。ただ、継続してこそだと思えます。非常に価値もあると思えますので、修正しながらいきたいと思えます。
- 掛山局長 補足させていただくと、想定した選手が 1,000 人くらい少なかった。そこで収入減。それと想定以上の看板の制作。警察等の指導、要するにランナーの安全を守るために、当初事務局が想定した以上の看板設置が求められた。それからたくさんのボランティアに出ていただいたんですけども、プロのガードマンを配置しなさいという指導があった。その辺もたくさんの人件費がかかっています。大きな理由はその三つです。
- 谷口課長 ちょっとまた補足ですけども、ガードマンの件ですが、普通の屋内・屋外の工事なんかでもよく出られていますよね。加賀市では 30 名ほどしかいなかったんです。他のところからもある程度キャリアを積んだ者を寄せる時に、どうしても上乘せしないといけない。140～150 名呼びましたが、それでもまだ足りないと言われていました。
- 石橋委員 そうすると、今回新市長に説明をされたということで、当然来年もこれをやりますということが前提の説明になりますが、当然予算措置、予算規模の話がされたと思うんです。やはり 4,000 万円くらいの規模を考えておられるということになります。そのうち 1,000 万円だけ今年度先出しで、当然来年の今頃には 1,000 万円、結局年度計算ではトータルで 4,000 万円ということですね。
- 掛山局長 そうということです。トータル 4,000 万円の固定経費になるかはまだ定かではないんですけども、看板が使えるということで、もう少し固定経費が安くなるのではないかと思います。
- 谷口課長 局長が言われましたように、1,000 人走っても 3,000 人走っても固定経費的なものはどうしてもかかる。看板をできるだけ修正して使えないかとやりましたが、張り替えにしてもただではできません。指導も 1 回目の反省を踏まえた上の 2 回目はどうしてもある程度お金がかかる。ただ、継続すれば 3 回目、4 回目になるにつれて固定経費は浮くのではないかと。半々くらいになればいいなど。あとは流動費的なもので、参加費で賄う。多ければ支出もでかい。少なければ支出

も少ないというところです。

上田委員長 よろしいでしょうか。

石橋委員 はい。

酒谷委員 参加費もそうなんですけど、たくさんの参加人数がいても大丈夫なものでしょうか。

谷口課長 例えば参加者に食べていただく物であったり、タオルみたいな参加賞が増えれば支出が増えるという基本的なことがございます。その一部が固定費ということで、あとはどれだけコースがもつか。つまり、狭隘なところがございます。ちょっと不安なところがあります。ただ、トータルとして 4,000 人くらいは大丈夫なのではないかということで、来年の 2 回目に関しては、4,000 名の定員を設けました。11 月 1 日から募集を開始します。そういうことも踏まえて、ある程度それ以上には、当然連動して支出もそれ以上にならないようにしていきます。様子を見てというとおかしいですが、継続していきます。

上田委員長 4,000 人の定員ですね。

谷口課長 はい。今日も局内で話していたんですが、予算的には、そんなにいっぱいいっぱいにしても支出が多いということですので、安全な予算をとりたいと思います。

上田委員長 よろしいでしょうか。

酒谷委員 はい。もう一つ。備考のところにコース変更の場合、平成 26 年開催不可能と書いてありますけど。

掛山局長 第 2 回目のコースは去年と同様のコースを予定しているんですけども、多少微調整はするんですけども、これは警察とここまで詰めてきたコースであって、これを今から再度コースを変えて大聖寺警察署と協議をしていくと、とても募集はできない。開催準備ができないくらいの期間になるので、今のコースを変えたとこの事業はできないという意味です。

上田委員長 何か追加はありますか。

旭教育長 補足ではないんですけども、大きな狙いとして、加賀温泉郷マラソンは観光誘客の一つの戦略というのがありますけども、前に言ったかもしれません、山中と加賀市が合併して一つにする事業がなかった。だから 3 温泉を結んで市民総出の加賀市全部をあげたイベントにもっていきたいという狙いが一つあった。要するに加賀市は一つという帰属意識があった。迎えることも大事ですけど、下支えしてお互い協力して一つのイベントを成し遂げようということがあった。何でこんな苦勞してお金をかけてまでするのか。今までのようにコースを変えずに田んぼの中を走ってもらって、のどかなところだとやっていれば、可もなく不可もなく、そんなに赤字にもならず終わるんですけども、せつかくここに来てもらって 3 温泉、何かもう一つアピールがないなということで、いろんなランナーの意見を聞くと、誰も応援してくれる人もいなく孤独だと、だけでも街中に入ればお互いに頑張れと触れ合いもできる。そういうことを願ったんです。ところがなぜ今までできなかったのかといたら、これだけの苦勞

があったんだという、私もちょっと甘かったところがあります。看板はいる、補助員はいる、それで経費がものすごくかかった。本当は片山津・山代・山中・大聖寺・中央公園に帰ってくるのが理想なんです。そうすれば後ろから順番に切っていけるんですから、車を止める拘束時間は緩和されるんです。ところがそれだけ 1 周すると、みんな計算したんですけど、信号のところに必ず警察官を置かないといけない法律があるんですね。そうすると 50~60 の閉門があって、県警を総動員してもそれだけ加賀市に派遣できない。だからまずそこで制約がかかる。半分の 20~30 人までなら出せると。そうするとその数分のところだけしか 3 温泉を結べるコースを作れない。だから往復なんです。できるじゃないかとやって蓋を開けたら、今度は片山津がスタートの地域でしょ。帰りまた待っていないといけない。片山津の拘束時間が 1 日中で、車を止めないといけない。ところが片山津温泉は高速道路が一番近いもので、金沢や大阪・京都方面から片山津温泉に来たのに、「ここで止められた、許せん。」ということで温泉観光客は怒る、片山津の市民は怒る、寒い、弁当は経費節減しないとイケないので安いのにする、いろんなことが重なって今回は頭を下げるしかないんです。だけど失敗してごめんなさいで終わるのもいかなものか。体育協会と陸上競技協会にはものすごく怒られております。けども体育協会にもう一回だけやらせてほしいと、すぐに良くはならないかもしれませんが、もう一回チャンスをくれないかということで、私も含めて局長と警察署長のところにまず行きました。まず交通規制の問題、そこが全てなんです。予期せぬことと云ったら怒られますけども、だから金沢市は 3 年かけてやったけども加賀市はいきなりやったわけですから。この辺がちょっと準備不足だったかなと思います。けども、市民にとってはランナーと触れ合えてよかったと、応援をしてくれた方はハイタッチしたりと、そういう意味では市民との触れ合いのマラソンになった。ランナーは地域の人と触れ合える、そして安心して走れるコースであったという満足度を得ている。問題は下支えする我々市民の協力・理解が得られるかが来年度にかかっている。今度の新市長にもそれを説明したら、いいんじゃないかと。とにかくお金はかかるけれども、継続したらどうかということが一つ。合計で 4,000 万円近い税金を使うわけですから、議会の説明をどうするか。この辺はやっぱり真摯に誠実な態度でいきたいと思っております。ただ、また同じ轍を踏むようであればもう絶対しない。もう 1 回だけチャンスをいただきたい。理想は 1 周です。どう持っていくか。そういうことです。

上田委員長

もちろん今の新しい議員さんも 2,300 万円ということを知らないですから、それを認めていただくのは事務局も大変だなという気持ちもございしますが、今年の反省を活かしてもらえればですね、加賀市のいいイベントになると思います。

旭教育長

いい町おこしです。

上田委員長

いい町おこしになることは間違いない。なんとか上手に反省を活かして第 2 回を成功させたいですね。この件はこれでよろしいでしょうか。

掛山局長

これだけの事業ですが、他に初めてお聞きするものはございますか。

旭教育長 　　また追々説明しないといけない時期がきたら、それぞれの事業を説明します。
上田委員長 　　では、その他にまいりたいと思います。よろしいでしょうか。その他（1）
　　について、田嶋課長お願いします。

■ その他(1) 第7回雪のデザイン賞表彰式について

田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長 　　もう11月2日ですから日がございませぬね。ただ今の説明につきまして何か
　　ございませぬか。これは2年に1回ですか。

田嶋課長 　　はい、そうです。隔年で1年目に募集の年、2年目に集まった作品を審査し
　　て表彰する年と順番にやっております。

旭教育長 　　田嶋課長に聞きたいんですが、来賓祝辞に財団法人の石川県デザインセンタ
　　ーの関係者が来られるんですが、これはどういう関係なんですか。

田嶋課長 　　県のデザインセンターに後援していただいているので、荒川さんに来賓とし
　　て祝辞をいただいています。審査委員長をされている先生に来ていただけた
　　らいいんですが、当日来られませぬのでお願いしたとの事です。

上田委員長 　　では、次にまいります。その他(2)について、田嶋課長お願いします。

■ その他(2) 北前船を知る講座について

田嶋課長 資料に基づき説明

旭教育長 　　質問。これは文化課が自主的に興してくれた事業で、予算無しで非常にあり
　　がたいんです。自分達で楽しんでやらせてもらえればそれでいいんですけど
　　も、20名分の24というのと20名分の22という参加者を今聞きましたが、
　　この24名の方々はお年寄りの方ばかりなのか、若い者はいるのか、あるい
　　は地域的にはどのような人達なのか。

田嶋課長 　　年齢層はあまり若い方はいらっしやいませぬ。市の職員で観光課の職員です
　　とかは、どちらかと言えば若い女性の参加もありますが、大体が年配の中年
　　以上の方でございませぬ。

旭教育長 　　地元の方ですか。

田嶋課長 　　地元の方がほとんどですが、遠いところでは金沢市と福井県からの申し込み
　　もございませぬ。人数は少ないです。

旭教育長 　　こういうツアーというのは案内に限るんですね。今回は文化課の誰が案内人
　　になっているかわかりませぬけども、案内で全て決まると思うんです。これ
　　がなかったらどこを回ってもわからないんですよ。けどものすごくいいこ
　　とで、これは私の希望ですよ。教育委員会が言うことではないんですが、私
　　の町は山中です。山中は橋立や北前船のことをほとんど知りませぬ。ただ、
　　山中節でそういう関係はあると思うんですよ。町内会やお年寄りの会で、20
　　人前後の人が来る会がいっぱいあるわけですよ。お弁当付きで1,300円で行

きませんかと案内すると喜んで行きますよ。こういうのに飛びつくんです。だから上手く案内して、そうすると地元を知ることにもなります。他の地域はわかりませんが、大江戸温泉に1日行って終わりとかです。それくらいなら、こういうところに行った方が孫にもっと語ってあげられるし、今はいいんですけども、仕掛けられる方法・案内の数もあります。今は文化課の皆さんがこういうことをボランティアで自分らでやってみて、メニューをいっぱい作っておいて、職員も勉強するというようなかたちで、あるいは観光ボランティアの人とも交流するとか、何かもうちょっと地元の人が地元のことを知る仕掛けを、それが子どものために私はなると思うんです。特に町内会でこういう宣伝を、回覧板とかですてくれると嬉しいなと思います。

上田委員長 　　なかなかいいアイデアではないかと思います。今見たらすごく興味が湧いてきました。何かご質問ございませんか。

酒谷委員 　　私、橋立編はわからないことがいっぱいあるんです。すみません。これは全部橋立の町にあるんですか。

田嶋課長 　　1回目は全て橋立町の中です。

酒谷委員 　　9時から17時は結構時間ありますね。

田嶋課長 　　基本的にはバスで橋立町まで行って、そこから散策して移動しますので。

酒谷委員 　　本当にわからなくて申し訳ないんですけども、その次の第2回「塩屋・瀬越・その周辺」とありますが、この勅使の元・願成寺さんはあの通りにあるお寺さんですか。

田嶋課長 　　そうです。

酒谷委員 　　あそこまでは瀬越からそこへ行って、そこから橋立へ行くんですか。

田嶋課長 　　2回目はバスでの移動が多くなります。

酒谷委員 　　そうなんですか。勅使のお寺さんは近いんですけど、どうなっているんですか。

田嶋課長 　　願成寺というお寺は消滅してなくなりまして、元々400軒ぐらい門徒さんがいたんですが、そのうちの半分ぐらいの門徒さんが残って、お金を出し合って願成寺の跡を買い取りました。小松からお坊さんと呼んで、お寺の名前も新たに洗心寺としました。

酒谷委員 　　すみません、私、前の願成寺さんの中がすごかったのをご縁があつて見せていただいたんですけども、どうなっているのかなと思ひまして。

田嶋課長 　　残念ながら建物は残っているんですが、その御殿の欄間とか襖の引き手ですね、全部抜き取られてないんですね。おそらくちゃんとした立派な欄間があつて、襖の引き手は七宝だったんですが、大変高価なものですから、そういうのはもう全部売られてしまった。

酒谷委員 　　ありがとうございます。

上田委員長 　　わかりました。ぜひ上手くいくといいですね。よろしいですか。では、次にまいります。その他(3)について、中矢次長お願いします。

■ その他(3) 「古三田焼と九谷焼～色絵陶磁の交流」展について
中矢次長 資料に基づき説明

上田委員長 これについて何かお聞きになりたいことはありませんか。ないようですので、その他(4)について、柏田市政図書室長お願いします。

■ その他(4) 行政図書室だよりについて
柏田市政図書室長 資料に基づき説明

上田委員長 毎週1回は大変ですね。
柏田図書室 当初、紙で発行するかたちも考えたんですけども、それだと最低A4サイズ1枚になってしまって、読まずに捨てられる物になっていけないうことで、同じ量なら毎週短い物にした方が、1カ月に1回大きい紙で出すよりも親しみを持っていただけるし、読みやすいのではないかとということでこういうかたちにさせていただきました。

上田委員長 周知されるといいですかね、PR効果が出てくるといいですね。何かございませんか。そうしましたら、用意されていた案件は以上ですが、その他ありませんか。

■ その他(5) オーケストラアンサンブル金沢加賀定期公演の報告
西出課長 説明

上田委員長 ありがとうございます。では、今後の日程をお願いします。
梶谷課長 次回日程ですが、動きがちょっとあります。適正規模の関係もございまして、場合によりましては、11月臨時会になるかと思えます。日程はまだです。あと、任期満了がきておりますので、11月22日には教育委員会の組織会ということで午前中を予定しております。基本的に新委員が決まりましたら、市長の方から任命式、それが終わりましたら組織会、教育長室で非公開ということで教育長の任命と委員長の選挙、職務代理の指名を行います。定例会がどうなるかというのはちょっと微妙な状況なので、内容が決まりましたら必要によって適正規模を兼ねて会議を開くという予定でさせていただきたいと思えます。

旭教育長 今のところ、臨時がいつになるかわからないということですか。

梶谷課長 はい。

旭教育長 夜か夕方になるかもしれませんが、おそらく説明会をするための公表する委員会です。

梶谷課長 そういう準備というか、動き出しが決まれば開催いたします。

上田委員長 いろんな日程が決まるのは11月に入ってからですね。

旭教育長 細かい説明会の日程は今まだ何も言えません。

上田委員長 ； わかりました。では、第 11 回教育委員会定例会を閉会します。ありがとう
； ございました。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。